

ミュージカル **忍たま乱太郎** 第11弾 再演
忍たま 恐怖のきもだめし

NHK カルチャー特別講座

資料用 上演台本

原作 尼子騷兵衛

脚本・作詞・演出 | 竹本敏彰 音楽監督・作曲・編曲 | 玉麻尚一

不許複製・転載禁止

臨
兵
闘
者
皆
陳
烈
在
前

NHKカルチャー特別講座資料

ミュージカル・ナンバー

M 19	M 18	M 17	M 16	M 15	M 14	M 13	M 12	M 11	M 10	M 9	M 8	M 7	M 6	M 5	M 4	M 3	M 2	M 1	M 0
Golden Time	奇跡のストーリー	勇気100%	忍者はガッツ!	心願成就	あの人のように	忍者の心得	今も変わらない	幽霊侍	今夜はピンボービート	ウエルカム・トウ・荒れ屋敷	忍たまホイホイ	顔に傷を持つ男	怖くなんてないぞ	ドクタケ・エクスタシー	いざ! 荒れ屋敷へ!	僕らのハーモニー	真言	平家物語	図書委員の歌〜荒れ屋敷
六年生	四年生	カンパニー	カンパニー	幽霊侍・学園勢・ドクタケ忍者隊	中在家長次	乱太郎・きり丸・しんぺエ・先生方	中在家長次・七松小平太・幼少期の二人	竹虎・時宗・道山・カンパニー	貧乏神・千兵衛・小梅・忍たま・ドクタケ忍者隊	千兵衛・小梅・忍たま・ドクタケ忍者隊	ドクタケ忍者隊	中在家長次	乱太郎・きり丸・しんぺエ	ドクタケ忍者隊	一・四・五・六年生・先生方	尾浜勘右衛門・四年生	六年生	琵琶法師	乱太郎・きり丸・しんぺエ
3分35秒	4分06秒	4分	3分48秒	8分	2分49秒	1分56秒	4分04秒	4分40秒	2分29秒	3分43秒	1分30秒	1分34秒	1分59秒	2分44秒	4分35秒	2分45秒	3分36秒	4分50秒	2分58秒

忍ミュ11弾再演

NHKカルチャー特別講座

第七場 忍術学園(朝)

5 一景 荒れ屋敷の資料調査

SE【鳥のさえずり】映像【遠い山々】《照明》上段が明るくなる。
中段、上段に四・五・六年生板付き。書物を調べている。

潮江文次郎 「いか！キノコ山にある荒れ屋敷について調べるんだ。どんな情報でもいいぞ」
尾浜・綾部 「はい！」

潮江文次郎 「尾浜！」

10 尾浜勘右衛門「うわあ！」

潮江文次郎 「しつかり探せよ！」

尾浜勘右衛門「はい！」

綾部喜八郎 「立花先輩、こっちの本、僕が調べてもいいですか？」

立花仙蔵 「ああ頼んだ」

15 齊藤タカ丸 「立花く〜ん」

立花仙蔵 「どうした？」

齊藤タカ丸 「何度見ても美しい髪だね。惚れ惚れするよ」

立花仙蔵 「齊藤タカ丸、任務に集中するんだ」

齊藤タカ丸 「はい」

20 善法寺伊作 「(上段上手扉登場)文次郎！遅くなってごめんね」

潮江文次郎 「こっちは大丈夫だ、それより長次の具合はどうだ!？」

善法寺伊作 「まだ眠ってるけど、熱も下がったし大丈夫」

《照明》C/F中段が明るくなる。

NHKカルチャー特別講座資料

- 5 立花仙蔵 「留三郎、あの屋敷どうして、あんな崖の上に建てられたんだと思う？」
食満留三郎 「仙蔵、それは俺も気になっていた。もしかしたら戦略的に配置された武家屋敷だったのかもしれない」
- 7 立花仙蔵 「戦の拠点だったってことか？」
浜守一郎 「先輩、僕もそう思います。屋敷は古かったけど、作りは頑丈でした。屋敷の中のむき出しになった柱に、貫板ぬきいたが使われてたんです。ああいう大きな屋敷を支えるための古い作り方で、昔のお寺にも見られます」
- 10 食満留三郎 「なるほど」
浜守一郎 「僕の先祖が忍者として仕えてきたマツホド城も、貫板ぬきいたを使つたって、曾ひいじいちゃんから聞いたことがあります」
- 15 田村三木エ門 「守一郎、どのくらい前に建てられたんだ？」
浜守一郎 「300年・…」
立花仙蔵 「300年！」
浜守一郎 「ううん。それよりもっと前かもしれない」
食満留三郎 「かなり古いな」
七松小平太 「では、もっと昔の資料を探してみよう」
- 20 田村・浜 「はい」
齊藤タカ丸 「尾浜くんのおどん髪つて、見れば見るほど芸術的だよな」
尾浜勘右衛門 「ありがとうございます」
齊藤タカ丸 「違うアレンジを試そうと思ったことはないの？」
尾浜勘右衛門 「え？」
- 25 齊藤タカ丸 「何だか髪結いしたく★なってきた」★SE【チヨキチヨキ】《照明》変化しすぐ戻る
潮江文次郎 「齊藤タカ丸！」 《照明》すぐ戻る
齊藤タカ丸 「はい」

NHKカルチャー特別講座資料

5

潮江文次郎 「ちゃんと調べてるんだらうな!」
齊藤タカ丸 「もちろんだよ潮江くん」
潮江文次郎 「どんな本を調べてた!」
齊藤タカ丸 「何だらう?」
潮江文次郎 「斉藤!」
齊藤タカ丸 「キノコ山 戦いの歴史 武家屋敷編」
食・善・田・浜 「それだあッ!」 ※上段に移動

10

中段の食満、善法寺、田村、浜は急いで上段へ移動。
《照明》上段のみに。中段は荒れ屋敷にセツトチェンジ。

15

潮江文次郎 「バカタレ!早く開いて読め!」
齊藤タカ丸 「え〜と。むか〜しむかし〜 ●キノコ山の切り立った崖がけの上にい〜 ●大きな屋敷がありましたあ〜」
潮江文次郎 「ああダメだ!斉藤が読むと、おとぎ話に聞こえてくるう〜誰か代われッ!」
尾浜勘右衛門「僕でよろしければ」
潮江文次郎 「よろしいッ!」
齊藤タカ丸 「尾浜くんよろしくう」

20

尾浜はゆつくりと本を開く。

二景 夜襲回想

《照明》暗くなる 映像【不気味な森+怪しげな雲】

25

M11B 軍人 八神竹虎

NHKカルチャー特別講座資料

5

尾浜勘右衛門「その屋敷は、平家一門が陣を構えた武家屋敷であり、戦の拠点にもなっていた。平家軍を率いるは、百戦百勝の華々しい戦歴を誇る軍人、八神竹虎であった」

SE【ドン】《照明》(中段登場)竹虎にサス明かり。

尾浜勘右衛門「数々の戦火をかくぐり生き抜いてきたその体には、無数の傷跡と、顔には大きな刀傷があったと言われている」

SE【斬る】映像【刀傷】竹虎一度退場。

10

尾浜勘右衛門「平家討伐を命じられた源氏軍は、平家軍が拠点とするキノコ山に向け、三千の軍勢を率いて出陣」

SE【三千の足音】映像【無数のかがり火】

15

尾浜勘右衛門「合戦前夜、満月の夜に到着した源氏軍は、朝になれば平家の軍勢が増える事を見越し、数の上で有利なこの夜に、夜襲をかける事を決めた」

SE【夜の虫】 照明 or 映像【満月の夜】

20

尾浜勘右衛門「その一方平家軍は、明日の合戦に備え、武器を解いて休息していた。そして平家軍が寝静まったその深夜、源氏軍は突如大きな音を立てながら屋敷を囲む森に火を放ち、攻撃を仕掛けた」

25

M11C① 夜襲

NHKカルチャー特別講座資料

SE【法螺貝十合戦の声十馬のいななき十飛び立つ羽音】
映像SE【火のついた矢が無数に飛ぶ↓木々が燃え広がる】

5 道山(登場) 「夜襲だ！夜襲だ！源氏の大军が夜襲を仕掛けてきたぞーッ！」
時宗(登場) 「竹虎様！夜襲です！竹虎様ーッ！」

竹虎(登場) 「時宗、道山！」

道山 「おのれ卑怯者め！夜明けを待たず夜襲をかけるとは！卑怯者め！」

時宗 「お逃げください！竹虎様！ここには討たれます！」

竹虎 「時宗！」

10 道山 「竹虎様！お逃げくださいーッ！」

SE【無数の矢がビュンビュン飛び交う十木戸に次々と刺さる】
竹虎、時宗、道山は矢に射貫かれ、倒れ込みながら舞台奥へ退場。

15 時宗・道山 「竹虎さまあーッ！」

竹虎 「時宗、道山！おのれ貴様ら！★この仇、必ずや——ッ！(R&D) (★M11C②)

《照明》中段暗くなる。中段は忍術学園にセットチェンジ。

SE【雷〜雨】 映像【稲光〜雨】

20 尾浜勘右衛門「竹虎たちの無念の涙の如く、突然降り出した大雨は、まるで屋敷を守るかのよう
うに、源氏軍が森に放った火を消し去ったのだった」

M11C終了。《照明》上段変化。中段暗いまま。←中在家中段板付準備

NHKカルチャー特別講座資料

三景 布団のある部屋

映像【夕方の山々】

- 浜守一郎 「そう言えば、昨夜も急に雨が降ってきて、あの人たちが…」
- 綾部喜八郎 「立花先輩の話、あの幽霊侍の事ですよね!？」
- 5 立花仙蔵 「間違いない。名は竹虎」
- 善法寺伊作 「討ち死にした平家の亡霊だったんだ」
- 七松小平太 「百戦百勝の強者が一夜にして…」
- 食満留三郎 「無念だったことだろう」
- 善法寺伊作 「うん。だから成仏できずにいるのかもしれない」
- 10 齊藤タカ丸 「どうか安らかに眠りください」
- 田村三木エ門 「あ！眠るで思い出したけど、屋敷に布団が敷いた部屋がありました！」
- 田・平以外 「布団!？」
- 田村三木エ門 「はい。なあ滝夜叉丸」
- 平滝夜叉丸 「その通り」
- 15 潮江文次郎 「バカタレ！そういうの早く言え！」
- 善法寺伊作 「ねえお化けて布団敷いて寝るの!？」
- 食満留三郎 「それとも誰かがあの屋敷に住んでるって事か？」
- 尾浜勘右衛門（泣）食満先輩、そう言う話やめてください」
- 立花仙蔵 「その部屋を調べる必要があるな」
- 20 齊藤タカ丸 「潮江くん、四年生にも手伝わせてもらえないかなあ。一年生から教わった忍術を試してみたいんです」
- 潮江文次郎 「いいだろう！尾浜、四年生の指揮を執れ！」
- 尾浜勘右衛門「はい！」
- 潮江文次郎 「明日日の出と共に出発だ」
- 25 四・五年生 「はい！」 ※四・五年生上手に退場。四年生はカツラチェンジ。

NHKカルチャー特別講座資料

5
善法寺伊作 「ねえ文次郎、タカ丸つて一年生に忍術教わつてるの!？」
潮江文次郎 「知るか！」
善法寺伊作 「一体どんな忍術なんだろうね!？」
潮江文次郎 「知るか！」
善法寺伊作 「楽しみだなあ〜」

立花、潮江、食満、善法寺下手奥へ。七松下手前

四景 長次と小平太

下段上手に幼少期の中在家(一年生が演じる)が登場し、縄を練習。

10

M12 今も変わらない

〜中在家長次・七松小平太・幼少期の二人〜

《照明》中段の階段に中在家が座り、下段上手の幼少期を回想。

15

七松小平太 「(努めて明るく)なんだ長次!ここにいたのか! 何考えてたんだ!？」

中在家長次

今も変わらない あの頃の夢 (★M12①)

幼少期の七松(一年生が演じる)が登場。

20

〈幼〉七松 「なんだ長次!ここにいたのか!そろそろ日が暮れくれるから帰ろう!」

〈幼〉中在家 「小平太!もう少し練習したいから先に帰って!」

〈幼〉七松 「長次は練習し過ぎなんだよ」

〈幼〉中在家 「だって練習しないとうまくならない!」

NHKカルチャー特別講座資料

- 5
 中在家長次
 中在家・七松
 うまくなりたかった
 強くなりたかった
 声を合わせて 息を合わせて
 二人の夢を追いかけて
 〈幼〉中在家（追っかけ）うまくなりたい
 〈幼〉中・七（追っかけ）強くなりたい
 合わせて
 追いかけてよう
- 10
 〈幼〉七松
 「いくぞ！それ！（苦無を回してキャッチ出来ず落とす）あれ？」
 〈幼〉中在家
 「（大笑いして）下手だなあ！」
 〈幼〉七松
 「まあ細かいことは気にするな！」
 〈幼〉中在家
 「小平太！いっぱい練習して！」
 〈幼〉七・中
 「一流の忍者になろう！」（→歌終わりから15秒）
 明るい君と
 優しい君と
 一緒にいれば
 勇気が湧いてくる
- 15
 中在家
 七松
 中在家・七松
 明るい君と
 優い君と
 一緒にいれば
 勇気が湧いてくる
- 20
 中在家
 七松
 中在家・七松
 どんな高い山も
 大きな川も
 飛び越えて行ける
 二人なら
- 25
 〈幼〉中在家
 「あ！（八の字に回して失敗、頬を押さえて泣く）」
 〈幼〉七松
 「どうした!?大丈夫か長次!?見せて！血が出てる！」

NHKカルチャー特別講座資料

七松は小さい手拭いを出して中在家の頬を手当てする。(→12秒)

〈幼〉七松小平太 泣★かないで 大丈夫(★M12②)

私がついているよ 〈幼〉中在家

どんな時も一緒さ (追っかけ) どんな時も一緒さ

ずつと一緒さ Ah—— 一緒さ Ah——

中在家・七松 これからも 同じ夢

追いかけて叶えて行こう

どこにいても一緒

ずつと

今も変わらない 二人の絆★(★M12③) 幼少期の二人は下手退場。

15 中在家長次 「小平太すまない…自分でもよく覚えていないんだ」

七松小平太 「長次、細かいことは気にするな、さあ部屋に戻るぞ！」

《照明》F/O。後奏20秒。音楽盛り上がりM12終了。

20

5

10

*****臨兵闘者皆陣烈在前*****